

機能水ニュースレター No. 130

2026年3月6日発行 一般財団法人機能水研究振興財団 編集担当 堀田国元・中藤誉子

協力：日本機能水学会・(公財)ルイ・パストゥール医学研究センター

〒141-0021 東京都品川区上大崎 2-20-8 Tel: 03-5435-8501, Fax: 03-5435-8522

E-mail: kinousui-zaidan@fwf.or.jp ホームページ: <http://www.fwf.or.jp>

報告：	機能水記念賞第2回授賞式	1
	第27回日本口腔機能水学会学術大会	2
	生物安全実践講習会第7回実践コースB	3
お知らせ：	ifia/HFE JAPAN 2026	3
	第53回迅速検査研究会講演会	4

機能水関連カレンダー

第53回迅速検査研究会講演会 ifia/HFE JAPAN 2026	2026年3月10日(火) 26年5月27~29日(水~金)	板橋区立文化会館(東京) 東京ビッグサイト西ホール
---------------------------------------	-----------------------------------	------------------------------

<報告> (一財)機能水研究振興財団「機能水記念賞」第2回授賞式

2026(令和8)年3月2日、東京四谷の主婦会館において2025年度の授賞式が開催され、「アルカリイオン水の機能解明と整水器の標準化ならびに業界の維持・発展への貢献」という理由により「アルカリイオン整水器協議会」に授与された。選考委員長の吉川敏一先生による選考経過の説明の後、吉川先生は「今回の選考は今後の期待値を込めての選考である」ことを強調された。続いて、堀田国元機能水財団理事長より、表彰状、盾、目録が協議会役員に手交され、受賞者を代表して田中亜侑美氏が答辞を述べられた。また、アルカリイオン整水器検討委員会(糸川嘉則委員長)のメンバーであった早川享志先生(岐阜大名誉教授)と才原康弘氏(元パナソニック)が当時を振り返りつつ、祝賀の講演とスピーチを行った。さらに、佐藤勉先生(東海大教授)が今後のアルカリイオン水研究の展望について話された。懇親会も含めて会は終始和やかな雰囲気のうちに進み、菊地憲次先生音頭による一本締めで終了した。



＜報告＞

第 27 回日本口腔機能水学会学術大会

メインテーマ： 「DX 時代の歯科医療における口腔機能水の役割 — シンプルだからこそ強い技術」

サブテーマ： デジタル化が進むほど重要になる低侵襲・簡便・即効性
医療資源・コスト・環境負荷の観点も包含

大会長 浅野正岳先生（→山本安希子先生）日本大学歯学部

期日・会場： 2026 年 2 月 28 日(土)・3 月 1 日(日)・日本大学歯学部本館

大会長を引受けておられた浅野正岳先生が1月1日に急逝された状況の中で、学会副会長の井上一彦先生を中心に学会理事会において善後策が検討され、浅野先生の講座の准教授の山本安希子先生に急遽大会長となっただき、関係者のご尽力により、予定通りの日程とプログラムで大会が無事に行われた。大会の冒頭、井上一彦先生の呼びかけにより参加者は1分間の黙祷を捧げた後、井上先生は浅野先生の人柄や学会への貢献などを偲ぶとともに事情を説明され、理事会において井上先生自身が学会の副会長から会長に就任することになったことを報告された。



浅野正岳先生追悼の言葉

第 27 回日本口腔機能水学会

山本安希子 大会長（日本大学病理学講座准教授）

福井怜 実行委員長・角田麻里子 副実行委員長

日本大学歯学部病理学講座 講座員一同

浅野正岳先生は、Interleukin (IL)-1 α (IL-1 α) が有する未知の機能を明らかにすることを生涯の研究テーマとして掲げておられました。IL-1 α は、サイトカイン研究の黎明期に同定された代表的な分子の一つであり、壊死刺激に伴って細胞外に放出され、周囲の細胞に危機的状況を伝達するアラミンとして機能することが知られています。一方で、IL-1 α は発見から長い年月が経過しているにもかかわらず、その全容はいまだ明らかではありません。

浅野先生が IL-1 α という分子に深く向き合う契機となったのは、機能水研究を通じてであったと伺っております。とりわけ、口腔癌細胞に機能水を処理した際、各種サイトカインの中でも IL-1 α 放出が顕著に変動するという知見が得られたことを受けて、本分子に強い関心を寄せられ、研究を深めてこられました。ゆるぎない探究心と情熱に支えられ、IL-1 α の本質に迫ろうとするその姿勢は、私たち後進の研究活動を導く確かな指針となっております。こうして広がった研究の歩みは、これからも講座の研究活動の中で大切に受け継いでまいります。

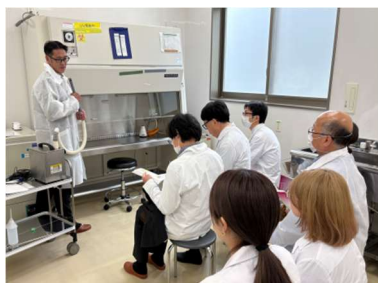
ここに謹んで哀悼の意を表し、浅野正岳先生のご冥福を心よりお祈り申し上げます。

<報告>

生物安全実践講習会第7回実践コースB

(一財)北里環境科学センターの共催協力を得て、(公財)ルイ・パストゥール医学研究センターと(一財)機能水研究振興財団の共同公益事業として、2026年2月25・26日の2日間、北里大学と北里環境科学センターにおいて実施された。以下に、当日の様子を紹介する。

なお、次回(第8回)の実践コースBの講習会は、8月に関西において開催予定。詳細は、機能水研究振興財団のHPに掲載されている「生物安全実践講習会」をご覧ください。



<お知らせ>

ifia JAPAN 2026

食品化学新聞社の主催で、2026年5月27～29日(水～金)、東京ビッグサイト西ホールで開催される。例年通り、(一財)機能水研究振興財団と(一社)日本電解水協会は協力して展示ブースを出展する予定。また、以下のように、5月27日(水)午後次亜塩素酸水に関する講演セッションが予定されている。

セッション：次亜塩素酸水(電解水)の近未来展望

講演テーマ：食品業界における次亜塩素酸水(電解水)の利用/効果とその評価

- | | |
|-------------|---|
| 13:10～13:40 | 演題：次亜塩素酸水(電解水)の近未来展望(仮)
演者：(一財)機能水研究振興財団 理事長 堀田國元 |
| 13:40～14:10 | 演題：食物アレルギー除去における次亜塩素酸水への期待
演者：愛知文教女子短期大学 教授 渡辺香織 |
| 14:10～14:30 | 演題：ノロウイルス食中毒ゼロに向けた電解水の使用条件設定アイデア
～ノロウイルス不活化試験キットの紹介～
演者：(株)プロテックス 須賀新太郎 |
| 14:30～14:50 | 演題：ヒスタミン食中毒予防とその迅速検査
演者：キッコーマンバイオケミファ(株) 松本浩祐 |
| 14:50～15:10 | 演題：アレルギー管理が見える化できる！簡易検査キット
演者：(株)森永生科学研究所 菅村茉莉佳 |

**迅速検査
キットの
展示併設**

迅速検査研究会 第53回講演会
[ふき取り検査/迅速検査による衛生改善と衛生教育]



迅速検査研究会 会長 川崎 晋

【日時】2026年3月10日(火) 受付 12:00～、開演 13:00

【会場】板橋区立文化会館・大会議室 (東京都板橋区大山東町 51-1)

【定員】100名 【受講費】賛助会員企業・法人会員企業 1,000円、一般 3,000円 (当日支払い) ※当日参加可

プログラム(予定) ※受付スタッフにお名刺を1枚お渡しください。

12:00～13:00	受付・展示 会場ロビーにおいて、迅速検査関連の資料の展示を行っております。 ぜひ余裕を持ってご来場いただき、ゆっくりとご覧ください。
13:00～13:55 (55分)	【基調講演】 タンパク質を指標としたふき取り検査法の性能～交差汚染・交差接触予防への活用の可能性～ 迅速検査研究会 会長 川崎 晋 (国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構 (農研機構) 食品研究部門) HACCPではCCPによるハザード制御だけでなく、一般衛生管理が大きな役割を担います。特に、製造環境に微生物やアレルゲン、食物残渣が残留しないような洗浄は、極めて重要です。洗浄後の清浄度確認の手法は、ATP検査、微生物検査など様々ですが、今回はタンパク質ふき取り検査に焦点を当てて解説します。
13:55～14:45 (50分)	【特別講演】 調理師養成施設の食品衛生教育～現状と今後の展望～ 神戸大学 バイオシグナル総合研究センター 客員教授 摂南大学 農学部 食品衛生学研究室 招聘研究員 (元 麻布大学 生命・環境科学部 食品衛生学研究室 教授) 三宅 司郎 先生 調理師養成施設は、文字通り調理師を養成する教育機関で、全国に266校あります。その団体である(公社)全国調理師養成施設協会は、教科書の発行や調理技術教育学会などを通じて、その教育を支援しています。食品衛生においても、教材「食品の安全と衛生」を発行するとともに、学会内に食品衛生関連分科会を設置して、新しい教育方法の開発や教員のスキルアップに取り組んでいます。本日は、その内容をご紹介します。
14:45～15:00	【迅速検査研究会 会員による迅速検査関連の技術紹介】 タンパク質を指標としたふき取り検査キットについて 迅速検査研究会 理事 大石 敏之 (株式会社エア・ブラウン) 日本で入手可能な、国内外の様々なタンパク質検査キットをご紹介します。基調講演と併せてご聴講ください。
15:00～15:25	休憩・展示 & 名刺交換タイム (終了後の展示はございません。ごゆっくり展示をご覧ください)
15:25～16:05 (40分)	【迅速検査の活用事例】 洋生菓子製造工場、店舗の衛生管理と迅速検査の活用 株式会社 新宿高野 品質管理室 室長 斎藤 勝臣 先生 高級フルーツや洋生菓子の製造販売で知られる新宿高野は、FSSC22000認証やFSSCデベロップメントプログラムの適合など食品安全・品質管理に注力しています。本講演では、食品安全管理の体制や、迅速検査を活用した大腸菌群検査などをご紹介します。
16:05～16:55 (50分)	【教育講演】 HACCP現場の衛生教育～コーチングを取り入れて「自律型」の現場に～ 日本エアポートデリカ株式会社 品質保証部 部長 辻 剛 先生 食品製造では、多くの現場が「衛生教育」「人材育成」に課題や悩みを抱えています。羽田空港の弁当、惣菜等を製造する日本エアポートデリカ社では、コーチングのノウハウを応用した衛生教育を実践し、「自律型」で食品安全文化を醸成できる環境の構築を目指しています。新人、外国人への教育にお悩みの方も必聴です。
16:55～17:00	閉会のご挨拶 迅速検査研究会 副会長 森 哲也 (一般財団法人東京顕微鏡院 食と環境の科学センター 豊海研究所 微生物検査部)
16:55～17:00	研究会からのご連絡

【申込方法】下記の項目を記入し、メールまたは Google Form からお申し込みください。

1. 所属・役職、2. 住所、3. 氏名、4. E-mail、5. 電話番号、6. 会員/非会員の別 (当会の賛助会員・法人会員、機能水研究振興財団 関係者は会員扱い)

【メール送信先】 info@atp-jinsokukensa.com

【Google Form からもお申し込み頂けます】 <https://x.gd/ksXUJ>

右のQRコードからもお申し込み頂けます

